

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

## 平成29年度 第9回 会計実務検定試験

# 財務諸表分析

### 注意事項

1. 監督者の指示があるまで、問題は開いてはいけません。
2. 解答用紙の指定欄に試験場校名・受験番号を記入しなさい。
3. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
4. 試験は「始め」の合図で開始し、「止め」の合図があったら解答の記入を中止し、ただちに問題を閉じなさい。
5. 制限時間は90分です。



【1】 次の文章のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を、解答欄に記入しなさい。

1. 売上高売上原価率と売上高売上総利益率を合計すると100%になる。
2. 棚卸資産回転率は、回転率が高いほど棚卸資産に資金が滞留している時間が長いことを示している。
3. 売上債権回転率は、貸借対照表のみで計算される。
4. 酸性試験比率（当座比率）は、少なくとも100%以上が望ましい。
5. 総資産負債比率は、短期の安全性をみる指標である。

【2】 同業種・同規模で、売上高と当期純利益が同額のA社、B社の損益計算書（要約）により、次の問1から問4に答えなさい。ただし、同じ記号を2回使わない。

〈資料〉

要約損益計算書

（単位：百万円）

	A社	B社
売上高	800,000	800,000
売上原価	570,000	600,000
売上総利益	230,000	200,000
販売費及び一般管理費	200,000	160,000
営業利益	30,000	40,000
営業外収益	20,000	1,000
営業外費用	4,000	4,000
経常利益	46,000	37,000
特別利益	6,000	15,000
特別損失	2,000	2,000
当期純利益	50,000	50,000

（注）税金は考慮しない。

- 問1 A社の売上総利益がB社より大きくなった理由を、〔解答群〕の中からすべて選び、その記号を解答欄に記入しなさい。なお、両社とも在庫水準は変わらなかった。
- 問2 A社の売上総利益がB社より大きかったにもかかわらず、営業利益はB社より小さくなった理由を、〔解答群〕の中からすべて選び、その記号を解答欄に記入しなさい。
- 問3 A社の営業利益がB社より小さかったにもかかわらず、経常利益はB社より大きくなった理由を、〔解答群〕の中からすべて選び、その記号を解答欄に記入しなさい。
- 問4 B社の経常利益はA社より小さかったにもかかわらず、B社の当期純利益がA社と同額になった理由を、〔解答群〕の中からすべて選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

〔解答群〕

- ア. この会社が売買目的で保有している株式の時価が上がった。
- イ. この会社の商品販売のアルバイト従業員の給料を上げ、給与総額が増額した。
- ウ. この会社の外国からの商品の仕入価額が、円高により下がった。
- エ. この会社が売買目的で保有している社債を売却し利益を得た。
- オ. この会社が当期からテレビでコマーシャルを流し、広告宣伝費が増加した。
- カ. この会社が所有している土地を売却し利益を得た。
- キ. この会社が保有している株式の配当金が予想を超えて増加した。

## 【3】 〈資料〉に示した財務諸表により、次の問1、問2に答えなさい。

問1 大型電器店を営んでいるA社の前期および当期の収益性に関する次のアからオの分析指標を求めなさい。

- ア 総資産当期純利益率
- イ 売上高販売費及び一般管理費率
- ウ 経常収益経常利益率
- エ 営業資産営業利益率
- オ 総収益対総資産（総資産回転率）

（注意事項）

1. アからオの数値は算出結果のみを解答すること（計算式は不要）。
2. 答えは、%または回の小数第2位を四捨五入し、第1位まで解答すること。ただし、小数第1位の数値がないときは、例えば、9.0%のように解答すること。
3. 当期純利益は、非支配株主に帰属する当期純利益を控除する前の金額を用いること。
4. 営業資産は、資産合計から投資その他の資産を引いた金額を用いること。
5. マイナスの場合には、数値の頭に「△」をつけること。例えば、マイナス9.9%の場合は、「△9.9%」と解答すること。

問2 問1の指標から次の視点に基づき、前期と当期の収益性について判断しなさい。なお、文章中の（ 1 ）から（ 5 ）には、問1のアからオの最も適切な指標名を記号で選び、（ 6 ）から（ 8 ）は【解答群】から選んで記号を記入しなさい。

〈〈通常の企業活動における収益性（経常利益まで）の視点〉〉

販売や管理の能率を示す（ 1 ）は前期の方が悪いが、（ 2 ）および（ 3 ）は当期の方が良い。

〈〈企業活動全体の収益性の視点〉〉

（ 4 ）は前期の方が良いが、（ 5 ）は当期の方が良い。

総合的に判断すると前期より当期の収益性が優れていると言える。

ここで営業資産営業利益率は、営業資産回転率（売上高対営業資産）と売上高営業利益率に分解でき、計算してみると以下の表のようにまとめる事ができる。

	営業資産営業利益率	回転率	利益率
前期	※	※	※
当期	※	※	※

※には計算結果が入る。

この表からさらに分析してみると当期の回転率は前期と比べて（ 6 ）、当期の利益率は前期と比べて（ 7 ）ということが分かる。つまり、営業資産営業利益率の良化の原因は（ 8 ）にあると言える。

【解答群】

a 悪い

b 良い

c 回転率

d 利益率

## 〈資料〉

## A社の要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期	当期		前期	当期
資産の部			負債の部		
流動資産			流動負債		
現金及び預金	40,000	30,000	支払手形及び買掛金	100,000	92,000
受取手形及び売掛金	50,000	56,000	短期借入金	92,000	83,000
商品及び製品	310,000	350,000	その他	64,000	60,000
原材料及び貯蔵品	2,000	3,000	流動負債合計	256,000	235,000
その他	50,000	40,000	固定負債		
貸倒引当金	△10,000	△7,000	社債	100,000	100,000
流動資産合計	442,000	472,000	長期借入金	111,000	105,000
固定資産			その他	15,000	15,000
有形固定資産	430,000	422,000	固定負債合計	226,000	220,000
無形固定資産	37,000	35,000	負債合計	482,000	455,000
投資その他の資産	170,000	172,000	純資産の部		
固定資産合計	637,000	629,000	株主資本		
			資本金	71,000	71,000
			資本剰余金	71,000	78,000
			利益剰余金	432,000	473,000
			株主資本合計	574,000	622,000
			その他の包括利益累計額	△1,000	1,000
			非支配株主持分	24,000	23,000
			純資産合計	597,000	646,000
資産合計	1,079,000	1,101,000	負債純資産合計	1,079,000	1,101,000

## 追加情報

(単位：百万円)

前期首総資産	1,109,000
前期首営業資産	949,000

※要約連結損益計算書は次ページ→

## A社の要約連結損益計算書

(単位：百万円)

	前期	当期
売上高	1,864,000	1,612,000
売上原価	1,426,000	1,153,000
売上総利益	438,000	459,000
販売費及び一般管理費	418,000	351,000
営業利益	20,000	108,000
営業外収益		
受取利息	2,000	1,100
その他	5,000	4,500
営業外収益合計	7,000	5,600
営業外費用		
支払利息	2,000	1,700
その他	1,000	1,500
営業外費用合計	3,000	3,200
経常利益	24,000	110,400
特別利益		
固定資産売却益	200	100
特別利益合計	200	100
特別損失		
固定資産処分損	500	400
減損損失	13,000	7,800
その他	800	900
特別損失合計	14,300	9,100
税金等調整前当期純利益	9,900	101,400
法人税，住民税及び事業税	14,000	18,800
法人税等調整額	1,800	300
法人税等合計	15,800	19,100
当期純利益	△5,900	82,300
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△800	1,500
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	△5,100	80,800

【4】 次のA社の要約連結キャッシュ・フロー計算書（間接法）について次の問1，問2に答えなさい。なお，△印はマイナスを示している。

問1 A社の要約連結キャッシュ・フロー計算書に関する文章の（ 1 ）から（ 6 ）に当てはまる語句を〔解答群〕から選び記号を記入しなさい。

なお，利息及び配当金の受取額と利息の支払額は「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載している。

問2 平成〇8年度のフリー・キャッシュ・フローを計算しなさい。

A社の要約連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	平成〇8年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	68,000
（ 1 ）によるキャッシュ・フロー	△19,950
（ 2 ）によるキャッシュ・フロー	△18,090
現金及び現金同等物に係る換算差額	△400
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	29,560
現金及び現金同等物の期首残高	39,700
現金及び現金同等物の期末残高	69,260

キャッシュ・フロー計算書は，企業活動を営業活動，（ 1 ），（ 2 ）の3つに区分した上で，それぞれの区分ごとにキャッシュ・フローの状況を表示する報告書である。営業活動によるキャッシュ・フロー区分には，間接法で作成すると，キャッシュの変動を伴わない（ 3 ），売上債権の増減額，仕入債務の増減額などが記載される。（ 1 ）によるキャッシュ・フロー区分には，（ 4 ）の支出などが記載される。（ 2 ）によるキャッシュ・フロー区分には，（ 5 ）の支払い，借入金の返済のための支出，（ 6 ）による収入などが記載される。

〔解答群〕

ア 配当金	イ 設備投資	ウ 減価償却費
エ 財務活動	オ 投資活動	カ 株式の発行

## 【5】 株式投資に関する〈資料〉について、次の問1、問2に答えなさい。

## 〈資料〉

	S社	T社
株価（1株あたり）	1,500円	900円
発行済株式総数（期中平均）	100百万株	30百万株
当期純利益	20,000百万円	240百万円
純資産	80,000百万円	6,000百万円
配当金総額	7,500百万円	150百万円
株主優待	100株以上～500株未満 3,000円の食事券 500株以上 10,000円の食事券	100株につき 2,500円の食事券 (最大1,000株まで)

※株を購入する際の手数料等は考えなくてよい。購入単元（単位）株数は100株である。

問1. S社とT社の「株価純資産倍率」と「株価収益率」、「配当利回り」と「配当性向」を計算しなさい。  
なお、計算上端数が生じた場合は、倍、%ともに小数点第2位を四捨五入し、第1位まで解答すること。ただし、小数第1位の数値がないときは、例えば、2.0%のように解答すること。

問2. 次の会話文の（ ）にあてはまる語句や数値を【解答群】の中から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

Aさん：「2014年1月からスタートした「NISA {=少額投資非課税制度}」によって、個人投資家が増えたという記事を経済新聞で読んだよ。2016年1月から、非課税枠の上限が120万円に変更になったみたいだね。」

Bさん：「うん、私もその記事読んだよ。」

Aさん：「この機会を利用して、全国でチェーン展開しているS社かT社の株を購入しようと思うんだけど、どちらの会社の株が良いかな。」

Bさん：「やはり、将来性のある会社の株を買うのが一番だよ。」

Aさん：「将来性のある会社の株といっても、株価は流動的なものだから判断が難しいな。」

Bさん：「それならば、株価純資産倍率や株価収益率などの指標を参考にすると良いよ。」

Aさん：「株価純資産倍率と株価収益率って何？詳しく教えてくれるかな。」

Bさん：「うん、経済新聞などで株価純資産倍率は（ ① ）、株価収益率は（ ② ）と略されるよ。株価純資産倍率は、純資産に比べて株価が相対的に高いか安いかを測る物差しで、通常何倍と表現するよ。一般的に、株価純資産倍率が、（ ③ ）倍以下である場合、割安であると判断されるよ。また、株価収益率は、企業の利益水準に比べて株価が相対的に割高か割安かを測る物差しで、この指標も通常何倍と表現するよ。一般に指標が高いほど、（ ④ ）であると判断されるよ。ちなみに、2017年3月31日の証券取引所第一部上場企業の単純平均株価収益率は19.8倍だよ。」

Aさん：「なるほど、そうすると、（ ⑤ ）社のほうが割高だね。」

Bさん：「うん、そうだね。同業他社やマーケットとの相对比较で判断することが大切だよ。」

Aさん：「そうかあ。あと、株を購入しようと考えている人の中で、配当金や株主優待の利回りを考えて購入する人がいるって聞いたことがあるよ。」



- Bさん：「うん、良いところに目をつけているね！配当金が高いとか、株主優待がある会社は人気があるよ。S社もT社も、配当金と株主優待が魅力的で、個人投資家に人気のある会社だよ。」
- Aさん：「なるほど。90万円元手があった場合、S社の株を購入すれば（※株価が資料の値段のままで権利確定した場合）、株主優待の食事券は（ ⑥ ）円分、T社の株を購入すれば（ ⑦ ）円分もらえるね。また、配当金だけを考えれば（ ⑧ ）社のほうが、配当金を多くもらえそうだね。」
- Bさん：「そうだね。ただ配当金や株主優待目当てならば、それで良いかもしれないけど、株価は常に変動するものだから、様々な指標を使って判断することが大切だよ。」
- Aさん：「うん、ありがとう。指標からその会社の株価が割高か割安か、また将来性があるかないかなど、財務諸表を分析する力を身に付けることが大切なんだね。そのためにも、会計学をしっかりと勉強するよ。」

## 〔解答群〕

ア. 1	イ. 10	ウ. S (社)	エ. T (社)	オ. ROA	カ. PER
キ. BPS	ク. ROE	ケ. PBR	コ. EPS	サ. 割高	シ. 割安
ス. 100	セ. 2,500	ソ. 3,000	タ. 5,000	チ. 10,000	ツ. 25,000





